

平成22年度

決算報告書

第3期事業年度

自 平成22年 4月 1日

至 平成23年 3月31日

地方独立行政法人
大阪市立工業研究所

平成22年度 決算報告書

地方独立行政法人大阪市立工業研究所

(単位：円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	1,131,541,000	1,131,541,000	0	
自己収入	344,000,000	327,135,506	△ 16,864,494	
事業収入	228,000,000	218,893,943	△ 9,106,057	
外部資金研究費等	110,000,000	86,116,557	△ 23,883,443	(注1)
その他収入	6,000,000	22,125,006	16,125,006	(注2)
前年度からの繰越	305,442,278	305,162,011	△ 280,267	
計	1,780,983,278	1,763,838,517	△ 17,144,761	
支出				
業務費	1,420,430,052	1,327,075,143	△ 93,354,909	
試験研究経費	258,453,366	214,230,437	△ 44,222,929	
外部資金研究経費等	103,861,000	79,690,845	△ 24,170,155	(注1)
役職員人件費	1,004,057,686	1,005,493,861	1,436,175	
施設改修費	54,058,000	27,660,000	△ 26,398,000	(注3)
一般管理費	146,905,080	120,929,368	△ 25,975,712	(注4)
長期借入金返済による支出	80,000,000	80,000,000	0	
翌年度への繰越	133,648,146	235,834,006	102,185,860	(注5)
計	1,780,983,278	1,763,838,517	△ 17,144,761	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 外部資金研究費等による機器等の入札の結果、予定価格を下回ったことに伴い契約額(交付額)が減少したものであります。
- (注2) 知的財産実施料等収入の増加及び消費税及び地方消費税の還付申告によります。
- (注3) 工事代金の前払いによります。なお、差額は工事完了後支出する予定です。
- (注4) 業務委託等入札の結果によります。
- (注5) 利益剰余金が生じたことによります。

○ 損益計算書の計上金額と決算の集計区分の相違の概要について

- (1) 福利厚生費のうち、健康診断・安全衛生にかかる費用 3,022,466円は、損益計算書においては、役員及び管理部門の職員にかかるものは管理運営費に計上し、業務部門の職員にかかるものは試験研究費に計上されていますが、決算報告書上、役職員人件費に計上しています。
- (2) 損益計算書に計上されている長期借入金返済による支払利息は、決算報告書上、一般管理費に計上しています。